

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年 2月 27日

事業所名:児童デイサービスみかん東難波

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員5名。フロアは車椅子同士がすれ違えるようにスペースを広くとっている。	①はい 12 ②どちらともいえない 1 ③いいえ 0 ④わからない 0	引き続き十分なスペースを確保し今後もあまり物を置かないように配慮する。
	2 職員の適切な配置	基準配置に従っている。医療的ケアが必要な児童も受け入れているため看護師を常勤1~2名配置して受け入れ体制を強化している。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も基準に従いゆとりのある人員配置を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内は車椅子で移動できるようバリアフリーとなっている。洗面台は車椅子のまま使用できるように高く、浴室、トイレは車椅子のまま入れるスペースを設けている。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も快適に活動ができるよう環境設備は工夫していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	フロアを広く活用できるよう整理整頓、衛生面で消毒清掃随時を行っている。車椅子から降りてフロア上でも活動できるようマットを敷くなどして工夫している。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	清掃、環境整備徹底を継続する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	問題点や今後の業務については月1回スタッフ間で話し合いを行い共有している。		引き続き情報の共有、周知は行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状第三者外部評価は実施できていない。		今後検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	店舗での研修、法人での研修の機会を設けて職員の資質の向上に努めている。		継続して研修を行い、職員の資質の向上に努める
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年ごとに面談を行いニーズの聞き取りや学校・家庭での様子を聞きながら計画内容を組み立てている。	①はい 12 ②どちらともいえない 1	保護者のニーズ、本人の様子などを踏まえた上で計画書の作成に取り組む。

切な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別、集団活動も取り入れ支援内容に偏りがなく、それぞれの状況に応じた支援計画になるよう作成している。	③いいえ 0 ④わからない 0	個々の状況に合わせて個別、集団それぞれで取り組めるプログラム、達成できる目標設定を行う。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目はいつでも設定、変更ができる。支援内容はできるだけ具体的に且つ誰が見ても理解できる内容で記載することを意識している。	①はい 12 ②どちらともいえない 1 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も継続、維持していく。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画目標をスタッフ間でも共有し、その目標達成の為にどうすればよいか試行錯誤しながら支援を行う。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も継続、維持していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	利用者様のモニタリング、支援計画作成時、会議を行い職員全員で作成することを意識している。		職員間で情報共有しながら継続して行っていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は支援プログラム中心の実施、休日は無理のない範囲での外出レクを取り入れるなど色々な経験ができるように支援している。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	同じような内容にならないように職員間で相談しながら行っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月間でプログラム内容を決定、季節を感じる活動の取り入れを行っている。		今後も職員間で相談しながら実施していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	サービス提供前に当日の支援内容、役割分担、予定確認など情報共有の場を設けている。		引き続き情報共有は行っていく。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎終了後に出勤職員全員で振り返りを行い問題点などあった場合は検討していく。		引き続き行っていく。	

	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々業務日誌を記入し支援内容の情報共有を徹底している。問題点等あった場合はその都度話し合いの場を設けている。		今後も引き続き継続して行っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月毎にモニタリングを実施し保護者と面談を行い支援計画の見直しをしている。		今後も継続、維持していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	電話で状況を報告、確認は行ってるが現状会議は行えていない。		会議の場をもうけることができるように検討していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	必要関係機関とは連携を取れる体制を整えている。		必要機関と連携がすぐにとれるように連携機関のことは把握しておく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	担当医からの指示書ももらいそれに基づいて医療ケアを行っている。また嘱託医が定期的に来所し情報の共有を行っている。		指示書に関しては定期的に更新していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校へのお迎え時、必要な情報の交換は行っている。		情報共有の為こちらからも積極的に関わっていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業後の移行先と情報共有行っている。		必要になった場合すぐに対応できる体制を整えておく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関とは必要時電話にて話を伺ったり来所いただいた際に情報共有するなどして連携できている。		研修などあれば参加できる体制作りをしていく。

	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状行えていない。	はい 8 どちらともいえない 1 いいえ 5 わからない 8	どのようなイベントが行われているかなど把握していくようにする。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現状行えていない。		地域に向けたイベントの考案を行っていく。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にご説明している。それ以外にも不明点等がある場合は随時質問をお伺いし速やかに解決できるような体制を整えている。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も迅速に対応できる体制を作っておく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	原則支援計画を示しながら口頭での説明を行っている。保護者へ確認していただき不明点等があればその都度説明を行っている。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も引き続き行っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現状ペアレントトレーニングは取り組めていない。相談事などがある時は迅速に対応できるようにはしている。	①はい 0 ②どちらともいえない 1 ③いいえ 0 ④わからない 12	普段からこまめに保護者とは連絡をとるようにしていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日頃から保護者と細かな情報のやりとりを行いながら共通理解を深められるよう意識している。	①はい 0 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 13 ④わからない 0	今後も密に連絡をとりながら情報の共有をしていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	話しやすい環境や雰囲気作りを意識している。悩み事など相談を受けた際は経験と専門知識を活かし対応している。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も引き続き迅速に対応できる体制を整える。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会等、現状は発足していない。必要であれば保護者様同士の連携に協力する体制は整えている。	①はい 0 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 13	状況に応じて臨機応変に対応できる体制は整えていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決責任者を配置し、苦情を受け付けた職員は速やかに責任者へ報告、迅速な解決ができるようにしている。	①はい 0 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 13	今後も継続、維持していく。

	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	取り組み意識はあるが今後創意工夫が必要。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	スムーズな意思疎通や情報共有が行えるようさらに意識していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に一度広報を発行し、事業所での活動内容、活動予定などを発信している。	①はい 13 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 0	今後も継続し発信していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報は個別ファイル、鍵付き書庫にて管理、職員にも個人情報の取り扱いには十分な注意を払うよう指導している。	①はい 12 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 1	今後も継続し発信していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルについては、保護者に配布している。店舗内にマニュアルを掲示し全職員周知に努めている。	①はい 12 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 1	職員への周知徹底を継続していく。今後もマニュアルが改定された時には速やかに保護者へ案内する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年一回以上の避難訓練の実施、有事の際の避難経路の掲示、確保等定期的に確認し職員の意識づけを行っている。	①はい 10 ②どちらともいえない 0 ③いいえ 0 ④わからない 3	今後も継続、維持し保護者への周知も行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人での虐待防止研修を行い同じ内容を店舗の職員にも周知している。それ以外にも普段から不適切ケアに繋がる恐れのある事案について職員間で話し合う機会は随時設けている。		虐待防止研修に力を入れ、風通しの良い施設作りを目指す。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束、行動制限について本当に必要であるか職員全体で話し合い決定している。保護者の同意については書面と口頭にて、ご本人へは支援時口頭にてベルトの装着などをさせていた旨、都度お伝え、説明している。支援計画に記載している。		拘束を減らす為にはどうすればいいかを引き続きスタッフ間で話し合っていく。

5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現状該当する利用者はいないが該当者が利用となる場合は医師の指示書に基づいて適切に対応する。		そのような利用者が今後利用になった時は医師の指示に基づき適切に対応できるようにする。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が発生した場合は原因振り返り、防止策等を話し合う場を設けている。		細かなヒヤリハットにも気付けるように普段よりスタッフ間で意識づけしていく。